

# せいわ

2017  
医療法人青雲会  
清和病院  
新春号

●2017年11月発行 ●年4回(1月、5月、8月、11月)  
●高岡郡佐川町乙1777  
●TEL.0889-22-0300 ●FAX.0889-22-1777  
●清和病院広報委員会発行

新年あけましておめでとうございます。

日頃より当院の医療サービスに対しご理解ご協力をいただき感謝申し上げます。昨年当法人において組織再編を行いました。高齢化・過疎化の進む中山間地域で、患者様、利用者様のニーズに応え、少しでも安心した暮らしを提供できるよう、スタッフ一同で良質な医療の提供、また地域に根差したサービスの向上に努め、邁進して参りたいと思っております。本年もご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げますと共に、皆さまの益々のご健勝をお祈り申し上げます。

清和病院 院長 近藤 近江

## 基本理念

私たちは、患者さま方に良質で安全な満足感のある高度な専門医療技術の提供と、地域における救急医療、保健・福祉サービス、介護などの生活の質(QOL)の向上に寄与することを目指します。

## 認知症初期集中支援チーム研修に参加してきました

平成28年10月15、16日と「認知症初期集中支援チーム研修」の研修に参加してきました。認知症初期集中支援とは、認知症になっても本人の意思が尊重され、出来る限り住み慣れた地域の良い環境で暮らし続けられるために、認知症の方やその家族に早期に関わっていくことで“早期診断・早期対応”に向けた支援を行っていくことを目的としています。高知県の高齢化率は31.1%全国第二位の高齢化先進県であり、何らかの疾患を抱え支援や介護が必要な高齢者が多いのが現状です。

認知症は経過が長く悪化していく病気ではありますが、認知症の方本人が症状に気づいて病院を受診することは難しく、病気になっていながら病院・介護へつながっていない方が多いということが問題となっています。認知症初期集中支援チーム員はこういった方々やその家族に対し、自立生活のサポートを行ったうえで、本来の医療や介護へ引き継いでいく役割があります。

認知症初期集中支援の事業は市町村が実施主体です。現在、佐川町のチーム員は地域包括支援センターの社会福祉士1名・保健師1名、清和病院の医師(精神科)・看護師1名・理学療法士1名・臨床心理士1名で編成されています。まだ実際に自宅に訪問するといった活動には至っていませんが、近々第1回目の訪問を行う予定となっています。訪問支援対象となる方は、認知症疾患の臨床診断を受けていない方、継続的な医療サービスを受けていない方、適切な介護サービスに結びついていない方、介護サービスが中断されている方、そして医療サービス、介護サービスを受けているが、認知症の行動心理症状が顕著なため対応に苦慮している方などが挙げられます。流れとしては、支援対象者や御家族、関係機関等より地域包括支援センターが相談を受けて認知症初期支援チームで検討し活動が開始されます。



## 感想

看護師 大崎美和

今回の研修で、既にモデル事業として活躍されている方もおられ、認知症の理解を深めるとともに、他職種連携演習では、地域格差があり、それぞれの市町村での方法の違い、問題点など支援を進めていく中での体験を聞くことができ参考になりました。現在、私達は包括ケア病棟に勤務しており、院内で認知症の患者様との関わりで、家族の方より地域へ戻られてからの不安や、心配を聞いていますが、改めて在宅介護の大変さを事例を通し知ることができました。私達は認知症の方が身体的にも精神的にも安心して暮らしていける生活の場を整えていくお手伝いができるよう努めていきたいと思っております。関係機関、御家族、地域の方への御周知、御理解、御協力をお願い致します。認知症で困っているかも...と気になる方がおられましたら、是非ご相談下さい。

理学療法士 松崎彩葉

今回、研修を受けて感じたことは認知症に対する知識を今以上に学んでおかなければいけないということです。認知症の方の自宅を訪問し、家族だけではなく認知症の方本人にも話を聞き、その方の今の状況や今後の病気の進行の事を考えたケアを選択し、医療・介護へつなげていかなければなりません。認知症の方の問題行動はその方の“不安”が一番関わっているそうです。認知症の方の中には訴えを上手く伝えることのできない方が多く、何を訴えたいのかをくみ取ってあげる必要があります。その不安の原因が分かれば、問題の解決やケアの方向性なども決まってくるので、その部分をくみ取ってあげられる関わり方をしていきたいです。そのためにも、認知症に対する知識を深め、環境だけでなく、内面にもサポートしてあげる支援員になりたいと思っております。

## 清和病院 病棟紹介

### 2病棟1階 病棟師長代行 和田匡史

2病棟1階は定床45床の男性、女性の混合病棟であり精神疾患を有する患者様の退院に向けての生活動作を患者様と一緒に習得し、社会復帰を目指す事を目的とした、精神療養病棟です。スタッフは看護師8名、看護助手5名、作業療法士1名、病棟クラーク1名で、看護師、作業療法士を中心に日常生活訓練、精神作業療法を患者様ひとりひとりに合った内容で提供させていただいており、心身両面での密な関わりを心がけて、取り組んでおります。その他にも病棟でのレクリエーションとして、3回/月の喫茶店でのお茶会も企画し患者様より好評を頂いております。今後ともよろしくお願ひ致します。



### 2病棟4階 病棟師長代行 森沢浩二

2病棟4階は精神科閉鎖病棟で男性、女性の混合病棟で定床46床です。他の病棟には無い保護室を2床有しています。精神疾患を有する患者様の入院窓口となることも多く、急性期から慢性期と多種多様の患者様が入院療養されています。看護師を中心としたチーム医療を行えるよう理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、栄養士、精神保健福祉士など他職種と連携し患者様の状態に応じた個別性のある看護を提供出来るよう、日々カンファレンスを行いケアを実施しています。また、閉鎖病棟という独特の空間を少しでも緩和できるよう、柔軟な発想や考え方を持って臨機応変な対応を心がけ、風通しのよい病棟となるようスタッフ全員が日々努力しています。今後ともよろしくお願ひします。



## 収穫祭

さわやかな秋晴れのもと、若草保育園園児の皆さんを招待し、患者様と一緒にさつま芋の収穫祭を行いました。

5月のさつま芋苗植えの際にも、園児の皆さんには参加していただきました。

今年は大型の台風が通過し、さつま芋の成長が心配でしたが・・・「こっちにあるで！」「本当！」「ここを掘ろう！」と畑では園児達の明るい声が飛び交い、さつま芋を傷つけないように掘るにはどうすればよいか患者様達が園児達に教える姿もみられ、協力して収穫したさつま芋の数はますますといったところでした。今年も芋植えから収穫まで、園児達と作業することができ、またその作業する姿を見学できて患者様達も大変喜んでいました。

また収穫後は、皆さんでテーブルを囲み、事前に収穫したさつま芋で作ったさつま芋汁や甘煮のおやつをいただきました。皆さん「甘くておいしい」と中にはおかわりを求める方もいらっしやいました。そして、最後は患者様達から園児達にさつま芋をプレゼントしました。園児の皆さんは嬉しそうに「ありがとう」と受け取られ、患者様達に可愛らしく手を振りながら、帰られました。患者様達も手を振り返しながら「今度はいつ来てくれる？」とスタッフに尋ねる姿がありました。

毎年開催されている収穫祭ですが、患者様は園児の皆さんと触れ合えるこの行事を楽しみにされており、園児の皆さんも年長者から教えを受けられるということは貴重な経験になるのではと思います。



## 院内作品展のご案内

平成29年3月15～17日の間、院内作品展を開催致します。

「夢」をテーマに精神科病棟・精神科デイケアの患者様や利用者様が作製した様々な作品を展示しますので、来院の際には是非ご覧になって下さい。

※写真はH28年に行った院内作品展のものです。



## 家族会

寒さが厳しくなり始めた11月25日、認知症病棟である2病棟2階と3病棟1階の合同家族会を開催しました。

今回は勉強会として、「地域で生活することについて」というテーマで病棟の相談員がお話をさせていただきました。また、清和准看護学院の学生も実習中であったため、共に参加し学生の勉強の場にもなりました。



内容は、認知症の方が入院後にどのような治療を行い、どのような入院生活を送っているのか、また病状が安定した際に退院後利用されるとされる介護保険のサービスや施設についてご説明したり、ご家族の方の意見をいただいたりして進行していきました。ご意見を聞きながらの進行という形式の勉強会は初めての取り組みで、スタッフは不安な面もありましたが、「私の家族も介護保険を使ってサービスを使いよった」、「知らんことが聞けてよかった」など、様々なご意見ご感想をたくさんいただくことができ、私たちスタッフも嬉しく思いました。また、今までは入院後に症状が良くなっても、退院後のサービスを知らなかったり家族の方に不安があり、なかなか退院できなかった患者様がおられましたが、現在は高齢者や認知症の方でも介護保険のサービスを調整するなどして自宅や施設へ退院することが可能となってきていることをご家族に知っていただく良い機会になったと思います。



勉強会の後は、フリフリグッパという体操を参加者全員で行ったり、茶話会で甘ーいお麩入ぜんざいを皆で食したりと、頭と体を使い、患者様とご家族とスタッフが楽しく交流できた1日となりました。

精神保健福祉士 坂本裕香



## 精神科デイケア「サン・スクエア・セイワ」のご案内

精神科デイケア「サン・スクエア・セイワ」は医療保険での通所サービスの提供を行っています。利用者は、精神疾患や精神障害を持ちながら在宅で暮らしていらっしゃる方たちです。精神疾患や障害は長期の経過をたどります。地域で健やかに暮らし続けていただくために、ご本人やご家族の疾患に対する理解はもちろんのこと、地域の方々の理解も大変重要になります。サービスの内容は、利用者さん一人一人の生活の自立を目標に、できることを増やしていく関わりを行っています。1日の利用者は4月より30人が限度となりました。利用者全員が一つの集団の中で、互いを思いやる関係性を作ることや、自身の思いを表出できる場であると理解してもらえよう様々な内容のプログラムを行っています。買い物やレクリエーション活動の一環として、地域に出かけて行きます。法人内の事業所で一定の時間働く体験なども行っています。症状が安定し、働くことが出来ている利用者数も増えてきています。障害を持っていても、働けることはその人の存在意義を高めます。利用者さんが自信に満ちた表情で仕事を行っている様子が院内で多くみられるようになりました。もうすぐすると、敷地内で育てたサツマイモを近隣の保育園の園児と収穫します。デイケアの利用者さんと子供たちの歓声がかぎやかに響きます。職員は、人は病気であっても、障害があってもどのような状態でも社会の中で生きることが必要であると考え、生きることを支援しようと日々関わらせていただいています。



## 外来診療案内

診療科科目		月	火	水	木	金	土	
外科	午前	●	●	●		●		
	午後		●					
整形外科			●					
内科	午前	●	●	●	●	●	●	
	午後	●	●	●	●	●		
精神科	精神科は初診のみ予約制となります。							
	初診	午前	●	●	●	●	●	
		午後	●	●	●	●	●	
	再診	午前	●	●	●	●	●	●
午後		●	●	●	●	●		
泌尿器科	午前	●			●			
	午後					●		
皮膚科	午前					●		
	午後		●		●			
循環器科	午前		●(1)				●(3)	
	午後		●(1)		●(2)			

★診療受付時間 9:00～11:30 14:00～16:30

- (1) 診察時間は、11:00～12:00 13:00～15:00です。緊急手術等により休診または診察時間が変更になることがあります。事前にご確認ください。
- (2) 診察時間は、13:00～16:00です。緊急手術等により休診または診察時間が変更になることがあります。事前にご確認ください。
- (3) 診察時間は、9:00～12:00です。緊急手術等により休診または診察時間が変更になることがあります。事前にご確認ください。

健康レシピ  
栄養科

## れんこんの 海老はさみ焼き

新年明けましておめでとうございます。

年の初めには家族の健康や幸せを願い、縁起を担いだ食べ物でお祝いします。

今回は冬野菜のれんこんを使った料理をご紹介します。れんこんには将来の見通しがきくように、また種が多いことから多産といった意味があります。そして海老は、茹でると背が丸くなることから、腰が曲がるまで長生きできるようにという長寿の願いが込められています。

【栄養量】 エネルギー 443kcal 蛋白質 24.9g 食塩相当量 3g

材料(2人分6個)

- れんこん.....200g
- れんこん(おろし).....100g
- 海老.....100g
- 酒.....大さじ1
- しょうゆ.....小さじ2
- A 塩・こしょう.....少々
- おろししょうが.....少々
- 片栗粉.....小さじ2
- 片栗粉.....適宜
- サラダ油.....大さじ1

作り方

- ①れんこんは200gと100gに分け皮をむく。
- ②れんこん200gは5mm程度の大きさに切り酢水にさらした後、ペーパー等で水気を切る。
- ③れんこん100gはすりおろす。
- ④えびは殻と背わたを取り除き、細かく刻む。
- ⑤③と④を合わせ、Aを加えてよく混ぜ合わせる。
- ⑥⑤を5mm程度に切ったれんこんで挟む。
- ⑦両面に片栗粉を付け、フライパンに油を引き焼く。

【効能】れんこん

- ・ビタミンCが豊富です。風邪予防、疲労回復、美肌効果等があります。
- ・粘り気のもとムチンです。胃腸の働きを助ける効果があります。
- ・切り口を黒くさせる成分はタンニンというポリフェノールの一種です。殺菌作用や消炎止血作用があります。
- ・不溶性の食物繊維が豊富です。便秘の予防や改善に効果があります。



## イルミネーション点灯♪

先月号で予告をしておりましたイルミネーションを点灯しております。来院の際にはぜひご覧ください。

